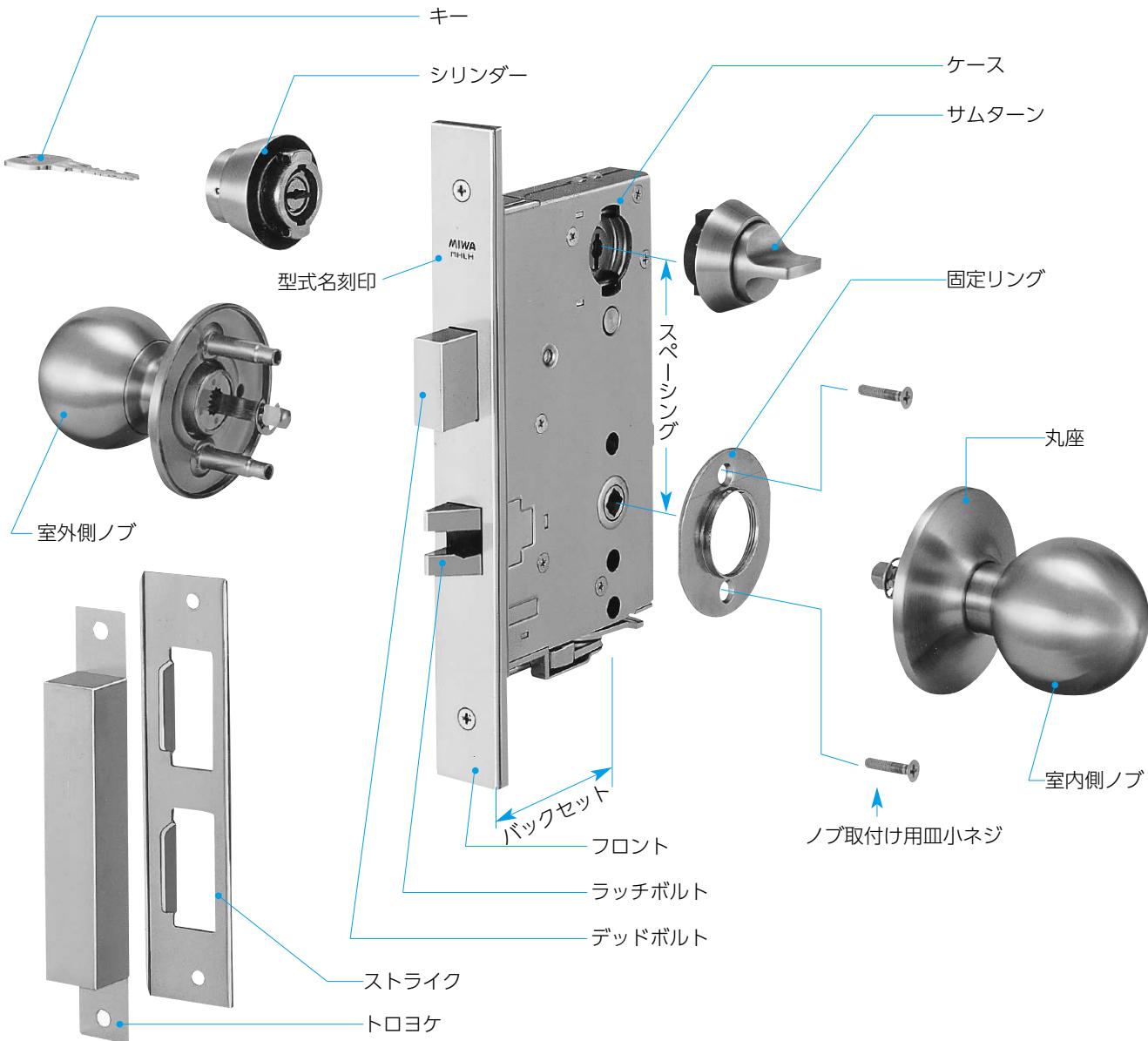


錠前の各部の名称と働き



| 名 称 | 働 き |
|-------------|---|
| サムターン | デッドボルトを出し入れするためのつまみ。通常は施錠時にサムターンが横になります。 |
| ノブ | ノブ自体は取っ手の役を果たし、ラッチボルトの出し入れを行います。 |
| フロント (面座) | 彫込型錠前ケースの扉の木口に出てくる面で、ラッチボルト、デッドボルトの出入りする穴とケースを扉に取付けるためのビス穴があります。 |
| デッドボルト (本締) | 施錠するためのカンヌキで、キー、サムターンで操作します。 |
| ラッチボルト (仮締) | 扉が風などであおられないための仮締りで、ノブで操作します。 |
| ストライク (受座) | ケースから出てくるラッチボルト、デッドボルトの「受け」で枠に取付けます。 |
| ケース (錠箱) | 錠前の機構の部分が納められていて、扉の中に納める彫込型と扉面に取付ける面付型があります。 |
| シリンダー | キーの入る部分で、そのシリンダー用以外のキーでは回転しないようになっています。(当社には、U9シリンダー、PRシリンダー、LBシリンダー、JNシリンダーの4種類があります。) |
| バックセット | フロント面からノブまたはシリンダーの中心までの長さを示す用語。 |
| スペーシング | ノブとシリンダーを別々に備える錠前で、その中心間の長さを示す用語。 |